



◆発行所 秋田県北秋田郡鷹巣町役場
☎(01866) 2-1111
◆編集 総務課秘書係
◆発行部数 6,700部
◆毎月1日・15日発行
◆頒価10円◆郵便番号018-33
◆印刷所 (株)秋北新聞社

№.227・46・11・15



一日一步、三日で三步。秋田テレビ「こんにちは奥様」に出演、好評を得たママコーラスが、11月3日の鷹巣町教育文化祭ですばらしいハーモニーをきかせてくれました。

昭和41年10月、歌を愛する主婦が集い、結成して満5年盛岡幸子さんをリーダーに毎週金曜日午後2時から1時間熱心に練習した成果でした。

知識量の増大、技術革新など加
速度的に急変する現代は学校教育
を終えただけでは人間として望ま
しい生き方をするには望めませ
ん。その変化と多様性に適応しな
がらも豊かな創造性を生み出せる
人力をすべての人々に与えていく
必要があります。その原理の一つ
が「生涯にわたる教育」というこ
とでしょう。その背景にあるもの
は、生涯を過して学習する機会を
もつという考え方と、教育の力で
すべての人々が生きがいをもって
生活できるような条件を整えてい
くことです。

けれども、幼児はともかくとし
て、学ぶ人間そのものに「自ら求
めよう」とする意欲がなかったら
この課題やねがいは到底解決でき
ません。それには、自らのめあて
をもち、生活に満足感と生きがい
を見出すための謙虚な態度と努力
が必要です。人間のしあわせと成
長にはこうした姿勢が大切だし、
教育の役割もこのような方向と
内容を備えるべきものと考えます。



鷹巣中学校長
高橋 茂明

生涯教育について
私の提言



交通事故激増非常事態宣言

事故をおこすな!! 被害にかかるとな!!

鷹巣町における交通事故は、十月末現在、昨年と比較して人身事故で十五%、物損事故で二十三%増加しております。しかも最も悲惨な死亡事故が昨年の四人から七人と七十五%の増であり、鷹巣警察署では交通事故非常事態宣言を行ないました。

これから年末にかけ、毎日警察官の五十%を取締りにあてるとともに交通指導隊、交通安全協会を動員することにいたしました。

鷹巣署では、事故激増の主たる原因を運転マナーの低下と歩行者の不注意としている

交通事故発生状況

区別	今年	去年	増減(%)
件数	111	96	15(15%)
死者	7	4	3(75%)
傷者	147	132	15(11%)
物損事故	119	96	23(23%)
法令違反	718	655	63(9%)

(10月31日現在で今年と昨年の比較)

事故運転者の住所調

住所	人数
町外	五七人
鷹巣町部	二四人
綴子	八人
七日市	七人
沢口	五人
栄	四人
前山	四人
坊沢	二人

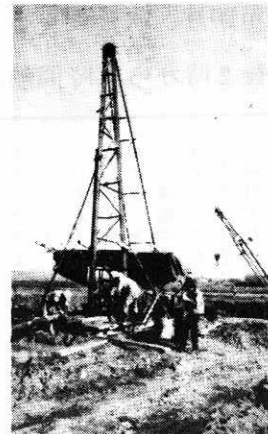
(111件の人身事故の事故運転者居住地図)

なお、鷹巣警察署発表の交通事故発生状況と事故運転者の住所は次の表のとおりです。

待望の上水道 工事始まる

上水道工事の起工式は、十月十七日関係者多数が参加して川口地内の現地でなわれ、いよいよ待望の上水道工事が本格的にスタートしました。

この水道工事に要する金額は総額で、四億四百万円の大きな額になり、昭和四



十七年には、部、四十八年の存には、全面給水されることになっていきます。

(写真は、地層調査貫入試験ボーリング)

文化講演会

十一月二十日

鷹巣町公民館では、十一月二十日午後一時三十分から、講師に、岩手大学農学部教授

石川武男氏を招き、「激動する経済情勢とこれからの農業」と題して文化講演会を開きます。

多数のおいでをお待ちしております。

自動車重量税

十二月から実施

自動車重量税は、急激に増加する自動車に対処して、道路などの社会資本を充実するための財源として創設され、ことしの十二月一日から施行されます。

一、自動車重量税は、道路運送車両法の規定により自動車検査を受ける自動車及び使用届け出による車両番号の指定を受ける軽自動車に対し、その重量に応じた税金がかかります。

三、税額は、自動車の区分や重量により、それぞれ定められています。

出かせぎ互助会の有効期間は、一カ年です。出かせぎ者はお忘れなく更新して下さい。

健康

季節の話題

健康 空気が乾き、冷たい風が吹いてくると、かぜやぜんそくなど気管の病気が多くなります。昔は、ちよつと威勢のいい人なら「フン、かぜぐらい熱いフロに入つて、熱かんで一杯やり、ふとんをかぶって寝れば……」とすぐ治ると信じて病気の仲間からはずしていたようですが、こんでもないことです。「かぜは万病のもと」

といわれるのは、かぜのよきな症状ではじまる重い病気が多いからです。軽いかならず暖かいて、安静に寝ていればたいてい治りますが、ぜんそくの人は、しろうと療法は禁物です。いちど専門医に診てもらって正しい指導を受けましょう。ふだん丈夫で病気に強い病気をしたことのない人は、とかくかぜなんかと水っぱなをすり上げて強がるものですが、あれが一番いけません。かぜを引いたら無理をせず、一

日じっくり休養することです。また、寒くなると血圧が上がるという人が多いようです。血圧は体温と同じように、その人の平均的な最高・最低が健康の目安のひとつです。

①暖かいところから急に寒い戸外に出ないこと。寒い朝の散歩や急激な手足の屈伸運動はさける。②いつも静かな生活を保つこと、むやみに怒ったり、いらいらしてはいけません。③急に走ったり、急に起き上がらないこと。などですが、そのほか便秘や食べ過ぎはもの味もいけません。食べもの味もできるだけうすくして、塩からいものやとうがらしなど、刺激の強いものはさけましょう。

ただし、大型特殊自動車は無条件で、また、軽自動車のうち、すでに車両番号の指定を受けているものは、一定の手続きにより非課税とされま

第三回鷹巣町教育文化祭

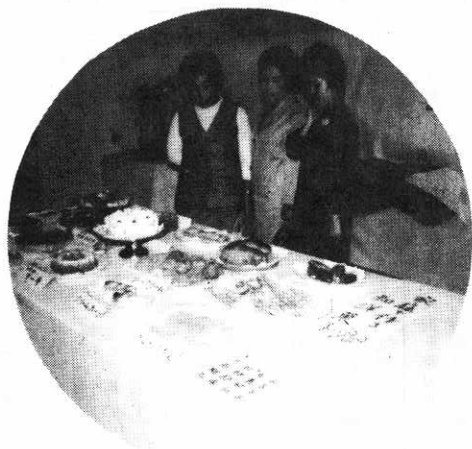
—日頃の成果を出しあう—

第三回鷹巣町教育文化祭は十一月二・三の両日、鷹巣小学校、役場、公民館の三会場に日頃の成果を出しあい盛大に行なわれました。

鷹巣小学校会場では、小中学校の学芸発表と作品展示、「七十年代の鷹巣町のビジョン」と題する弁論大会（出場者の論旨は、昭和四十七年一月一日号町広報に掲載予定）役場会場では、書道展、生活展、短歌展、銘石展、生活展、文化財展、お茶席などで終日にぎわいました。公民館では、二日、勤労青年ダンスの集い。三日は、芸能発表、のど自慢大会、記念講演、また当町ではじめての邦舞公演が行なわれましたが、好天にめぐまれたせいのか総じて観衆のすくないのが惜しまれました。



600年余の歴史をもつ「うたい」も当町に誕生



生活展



力作ぞろいの条幅



花の構成美



立 礼

今燃えようとして いる火がある

11月11日—17日 秋の火災予防運動

秋の火災予防運動が十一月十一日から全国一斉に行なわれています。

これから冬に向かい暖房などの火の気の多く使用される時期となり、さらに気象条件も加わり火災の発生しやすい状態です。町民ひとりひとりが責任をもって「火の消し忘れスイッチの切り忘れ」を心に

火災予防運動の一斉実施事項は、①わが家の防火総点検、②たばこの投げ捨てと寝たばこの防止、③暖房器具の正しい使い方、④旅館、ホテル、商店、事務所等人の出入りする防火対象物における消火避難訓練の実

花のおばあさん

に表彰状

鷹巣町栄町中島チルさん(七九)は、こしの花いっぱい運動の功労者として、このほど秋田県花いっぱい運動の会から表彰されました。

中島さんは、昭和四十二年から、児童公園花壇の手に力を入れ、花壇いっぱいになり季節の花をさかせ、児童公園をお訪れる人達から感謝されていたものです。表彰状を手にした中島さんは、これからも私の仕事として続けていきますと話してくれました。



⑤防火規制の徹底があげられております。町民ひとりひとりがそれぞれの立場から「火災発生の絶滅」を期するため注意しましょう。

一月〜十月十九件 一億五千六百万円が灰

ことしに入ってから十月までの火災件数は、昨年一年間の二十一件より少ない十九件ですが、焼失面積、損害額等いずれも昨年をオーバーしております。

ことしの火災状況をみると、火災件数十九件。焼失面積三千三百二十六平方メートル。損害額一億五千六百二十六万円。焼失棟数二十棟。罹災世帯十二世帯。罹災人員四十八名。傷者十三名となっております。

賢い消費者になろう

29日・第六回消費者学習会

第六回鷹巣町消費者学習会が町と鷹巣町連合婦人会の主催で十一月二十九日(月)午前九時三十分から午後二時まで役場三階大会議室で開かれます。

この消費者学習会では、ドルショックが消費生活にどんな影響があるかを勉強し、ここ数年米の物価上昇と、粗悪品がおびやかされている消費者が「一体となつて」かしこい消費者になろう」を目標に開かれます。

田中に総合 センター完成

田中地区にこのほど老人、主婦、子どもも利用できる総合センターが、工事費五百五十七万円を完成しました。

施設は、本造平家建て、五百五十六平方メートル。集会用の大ホール、児童学習室、老人休憩室、健康相談室、浴室のほかは百人分の料理がつくれる調理室からなっている多目的センターです。



施設の高度利用が望まれます。

栄ある受彰

十月二十六日秋田市で行なわれた第十八回秋田県統計大会で、鷹巣町から次の四氏が統計調査の功績者として、知事表彰を受けました。

佐藤光悦(坊沢) 堀内彦直(松原) 畠山喜久造(綴子) 柴田実(舟場)

十月三十一日秋田市で行なわれた自衛隊創立二十一年周年記念式典で、役場町民課主任藤島正さんは、自衛官募集功労者として、自衛隊秋田地本連絡部長から感謝状が贈られました。

十一月六日湯沢市で開かれた第九十四回県種苗交換会の開会式で、綴子上町高橋佐一郎さん(六十八)は、長年にわたって農業生産と指導に尽くされた功労者として表彰されました。

慶弔だより

10月16日〜10月31日
誕生おめでとうございます

- | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|----------------|-----------------|----------------|--------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-------------|-------------|
| 五代儀有香、微也長女、古閑 | 佐藤教子、孝行長女、坊沢上町 | 大門千賀子、照男長女、沢口舟場 | 高木楨枝、春夫二女、東住吉町 | 中島忠大、勇吉長男、旭町 | 米村美生、薫長女、南鷹巣 | 明石浩子、竜長女、東住吉町 | 天野和博、誠博長男、花園町 | 加賀谷幸子、鉄二女、伊勢町 | 神成重紀子、昇長女、西横町 | 橋本和也、昭蔵長男、材木町 | 戸島秀幸、秀男長男、花園町 | 大坂明美、芳明二女、下舟木 | 佐藤秋雄、宏二男、坊山 | 二人の前途を祝福します |
| 藤原興道、坊沢 | 柳谷文子、能代市 | 佐藤淳子、秋田市 | 渡部清輝、綴子 | 佐藤京子、藤株 | 佐藤義徳、南鷹巣 | 工藤和子、合川町 | 庄司馨、森吉町 | 寺園純子、西住吉町 | 金沢厳、あけぼの | 小林正子、田代町 | 三沢信章、大堤 | 小津洋子、花園町 | おくやみ申しあげます | |
| 桜庭美香子、(7) | 中林仁吉、(55) | 岩本仁吉、(66) | 九島ワサ、(81) | 鈴木ムラ、(70) | 佐藤喜久治、(57) | 村上直吉、(79) | 蟹沢小森 | 北新町 | 田中 | 青山荘 | 古関 | | | |